

愛に生き

深川市立一已中学校 学校だより 9/30

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653
http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyan-jh/index.html

真に生き

美に生きる

「学ぶ」ということ

校長 坂本 征人

「学問は『人とは何か』を学ぶものである。自分自身を見つめて本質を知り、変化する時代を着実に読み取って自分のものとし、自分が社会に対して何が出来るのか、何をなすべきか導き出す案内人である」

吉田松陰（江戸時代の思想家）

「学ぶということは、覚えこむこととは全くちがうことだ。学ぶとは、いつでも、何かをはじめることで、終わることのない過程に一步ふみこむことである。一片の知識が学習の成果であるならば、それは何も学ばないでしまったことではないか。学んだことの証しは、ただ一つで、何かがかかわることである。」

林竹二（元宮城教育大学学長）

「学ぶ」という言葉を聞くと「勉強」という言葉を連想する人が多いと思いますが、上記のお二人の言葉から、そうではないことがわかります。また、「学力」を「学ぶ力」と捉えれば、世間一般で言う、勉強等で身につけたテストによって点数をつけられているような尺度での「学力」とも違うような気がします。

ちなみに学校教育法では学力について「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。」と記載してあります。

学校での勉強や学び、自身の経験等を糧に、これから訪れる未来の社会で役に立つ力こそが、学力なのかもしれません。

10月行事予定

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 6日（木）学校祭 | 20日（木）代議 |
| 7日（金）前期終業式 | 24日（月）赤ちゃんふれあい教室（3年） |
| 8日（土）道P連オホーツク北見大会 | 25日（火）芸術鑑賞 |
| 11日（火）後期始業式 | 26日（水）委局・代議 |
| 13日（木）学力テスト総合B（3年） | 27～28日 宿泊研修（2年） |
| 14日（金）生徒会認証式／委局・代議 | |
| 22日（木）前期期末テスト | |
| 26日（月）避難訓練 | |
| 19日・26日 市教委放課後教室（3年） | |
| 13日・21日 スクールカウンセラー相談日 | |



全国学力・学習状況調査の結果

4月19日に実施した今回の調査について、本校における調査結果の概要をお知らせいたします。中学生では現行の学習指導要領のもとで学んだ生徒が初めて対象となりました。本校では主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善が進められています。

★ 本校では学習指導要領を踏まえた授業改善が図られています ★

国語	◎平均正答率は全国平均正答率「100」に対し、101で、全国平均並みです。
数学	◎平均正答率は全国平均正答率「100」に対し、99で、全国平均並みです。
理科	◎平均正答率は全国平均正答率「100」に対し、100で、全国平均並みです。

本校では「授業改善＝学校改善」をキーワードに掲げ全校的に取り組んできました。教科調査だけでなく、質問紙調査でも結果として表れています。さらに向上させるために次の点に取り組みます。

- ① 授業では、生徒が「めあて」を十分に理解して臨めるように、また「めあて」に沿った「振り返り」ができるように、「めあて」と「振り返り」の充実を図ります。
- ② 生徒が授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思える授業づくりをめざすため、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「何のために学ぶのか」という学習の意義を生徒へ伝える努力を授業において続けていきます。
- ③ 全教科の授業において、集団づくりの視点を再確認するとともに、自己有用感を高めるために、友だちから認められる授業づくりの工夫をさらに行います。
- ④ 1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」です。これまでの教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図っていきます。

★ 求められる学力は変化しています ★

今、日本の学校教育は明治以来といわれる大きな改革が行われようとしています。自ら問いを立てて情報を集め、考え、行動できる生徒を学校教育の中で育成することを目指しています。知識や技能を測るだけではなく、その問題内の条件での思考力・判断力の比重が上がっています。

実際の全国学力・学習状況調査問題（数学）

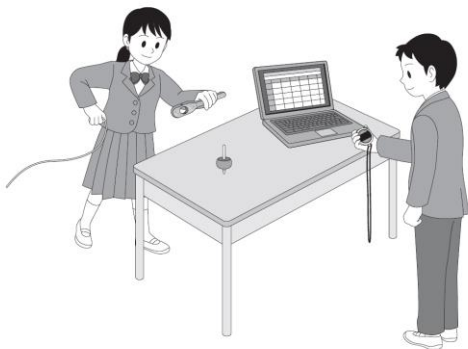
本校正答率 48.5%

全国正答率 44.0%

- 7 学級でコマ回し大会をします。この大会では、次の図のようなひもを引いて回すコマを使って一人1回コマを回し、最も長い時間コマを回した人を優勝とします。



大地さんと葉月さんは、コマAとコマBのうち、どちらのコマを使うかを検討することにしました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 二人は、どちらのコマがより長い時間回りそうかを調べるために、2つのコマを20回ずつ回し、それぞれのコマが回った時間のデータを集めました。そして、それぞれのデータについてヒストグラムをつくり、それらを比較して考えることにしました。

図1 コマAが回った時間

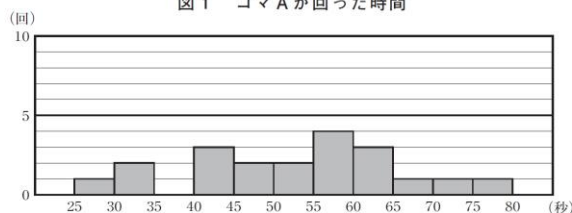


図2 コマBが回った時間

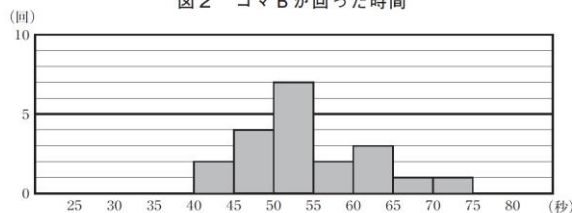


図1、図2のヒストグラムの特徴をもとに、より長い時間回りそうなコマを選ぶとすると、あなたならどちらのコマを選びますか。下のア、イの中からどちらか一方のコマを選びなさい。また、そのコマを選んだ理由を、2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらのコマを選んで説明してもかまいません。

ア コマA

イ コマB

調査問題は下記アドレスでダウンロードできます
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>